

酵素賦活原液

酵素賦活原液は「酵素補因子」です。

酵素の働きを助ける補因子

補因子 { 補酵素(コエンザイム)・・・ビタミン
補助因子(補欠分子族)・・・ミネラル

補酵素はビタミンです。英語で補酵素のことをコエンザイム(coenzyme)といますが、これは文字通り酵素(エンザイム=enzyme)を補佐する役目です。一時期、美容・美肌、若返り効果でブームになったビタミン作用物質のコエンザイム Q10 も補酵素です。

ミネラルは、補助因子です。以前は、ビタミンと同じように補酵素とされていましたが、今では補助因子とされています。

酵素は、タンパク質によって構成されていますが、その種類はタンパク質だけでできている「単純酵素」と配合族(タンパク質でない部分)との複合体でできている「複合酵素」の2種類があります。

単純酵素は、ペプシン、アミラーゼ、リパーゼなどの消化酵素ですが、酵素の大部分を占める複合酵素は、タンパク質部分の「アポ酵素(主酵素)」に非タンパク質部分の補酵素と補助因子が結合した酵素です。これを「ホロ酵素」といいます。ホロ酵素は、ミネラル、ビタミンの存在なしには活性化しません。

ビタミンでは、水溶性のビタミン、特にB群のビタミンは体内で代謝にかかわる補酵素の構成材料として、重要な生理機能を持っています。ビタミンB1は糖質代謝の補酵素として、ビタミンB6はアミノ酸やタンパク質の補酵素として、ナイアシンは酸化や還元などの脱水素酵素として働いています。

ミネラルでは、それを必要とする酵素を「金属酵素(メタロエンザイム=metalloenzyme)」といますが、このメタロエンザイムの多くは、生命現象の重要な局面を担っています。有名なところを紹介してみましょう。

亜鉛は、細胞の分裂、成長、エネルギーの生産のいっさいをコントロールし、生命の誕生から老化、死滅までを支配しているDNAを合成する酵素のポリメラーゼの補助因子です。

銅は、活性酸素を除去するスーパーオキシドディスムターゼ(SOD)の補助因子で、二日酔いを防止するアセトアルデヒド脱水素酵素の補助因子でもあります。

セレンは、同じく活性酸素を除去する酵素のグルタチオンペルオキシダーゼの補助因子です。

マンガンは、細胞のミトコンドリアでのエネルギー代謝にかかわるピルビン酸カルボキシラーゼの補助因子です。

マグネシウムも、生体内のエネルギー通貨であるATPを分解してエネルギーを作り出すATPアーゼやさまざまな酵素の補助因子として、生体代謝調節に重要な役割を担っています。

ビタミンとミネラルの重要性は、今では幅広く認識されていますが、これらは補因子ですから、いわば酵素の"子分"です。"親分"の酵素は、九番目の栄養素とされていますから、"子分"の後塵(こうじん)を拝(はい)しています。これは、酵素の研究が遅れたことによる逆転現象です。

出典：「酵素」の謎 鶴見隆史著 祥伝社刊 (51P~55P)